

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **ほほえみの家**

日付 平成16年4月20日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 管理栄養士
看護師・大学福祉系講師

自主評価結果を見る (まだリンク先はありません)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)

開設からまだ1年に満たないホームである。えんさこ医院の併設施設であり、緊急時の対応・他の医療スタッフの連携も期待でき、よりよいケアが受けられる体制ができている。そのためにスタッフは安心して取り組めているのが表情からも感じられる。

施設等の設備類はどれも落ち着いた雰囲気でバリアフリーに作られているのももちろんのことだが、リビング内におしゃれな手洗いが設けられているなど工夫されている。トイレの手すりの使いやすさにも特徴があり、思わず座ってみたいくなるような感じだ。

職員の入居者の方々に対する接し方も、大変丁寧で、職々を尊重し大切にしようという理念が徹底されていることが入居者とのコミュニケーションの場面での、お互いの優しい笑顔から理解できた。

介護度の高いユニットと、比較的低いユニットの2つで構成されており、各空間の雰囲気も違って、それぞれのスタッフの個性が出ており新鮮さを感じた。

改善の余地があると思われる点
建物の外回りには入居者の活動に適した場所が今のところ少ない様に感じられる。外回りの工夫にいま少し取り組まれることを望みたい。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 「個人を尊重し、その人らしく生活できるよう援助する」を目標に、各職員が落ち着いた穏やかな接し方を心がけて入居者一人ひとりのよりよい生活を目指している。90歳代の父親の面会にこられた70歳代の息子さんとのほのぼのとした愛情あふれる会話、表情に出会うことができたことで、より一層グループホームの意義を認識することができた。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 職員と入居者の普段の何気ない会話の中から、個人のかつての生活の姿を汲み取り、その人らしさを見つけ出す努力をし、スタッフ間で話し合いを重ねながら、日々の生活のうえでの配慮に役立てるようにしている。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 個人の過去の経験や技能を生かしてホーム内でできることをしてもらっている。造園技術を持っておられる入居者の人には正月の門松造りなど、手助けを行いながらもその人の経験とプライドを尊重しうまく誘導できている一例だと思う。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 介護計画、個別の記録といった記録類はきちんと整備されており、職員の方の取り組み方が真面目であり、安心感がある。カンファレンス、申し送りも確実に行うなど、スタッフ間の意識の平均化を図るような努力をよくされていると思う。			